工事 Topics

東埼玉道路と国道4号BPを結ぶ連絡線橋

R2国道4号東埼玉道路中川連絡線橋下部その3工事
R5国道4号東埼玉道路中川連絡線橋仮設構造物撤去工事

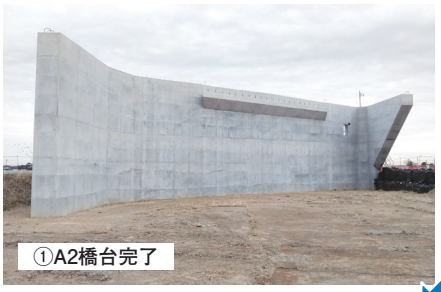
東埼玉道路は、埼玉県八潮市（外環道）を起点に埼玉県春日部市（国道16号）に至る延長約17.6kmの地域高規格道路で、東北自動車道や常磐自動車道などの高規格幹線道路を補完するとともに、国道4号の交通混雑の緩和や東埼玉道路沿線の開発事業を支援する幹線道路である。

本工事は、埼玉県春日部市赤沼地先において一級河川中川に架かる橋梁の橋脚躯体及び杭基礎工を施工したものである。

工事概要

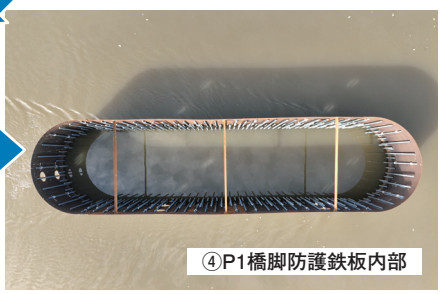
工 事 名	R2国道4号東埼玉道路中川連絡線橋下部その3工事 R5国道4号東埼玉道路中川連絡線橋仮設構造物撤去工事
工事場所	埼玉県春日部市赤沼地先
工　　期	令和3年4月1日～令和6年3月31日 令和6年2月27日～令和6年7月31日
発 注 者	国土交通省　関東地方整備局　北首都国道事務所
工事内容	【RC橋脚工】既製杭工(φ1,000)L=31m 18本 橋脚躯体工(小判形張出式橋脚)1基:柱1ﾛｯﾄまで 仮橋･仮桟橋工1式、土留･仮締切工1式、固結工1式 【橋台工】　橋台躯体工(逆Ｔ式橋台)1基:竪壁2ﾛｯﾄ目から上部施工

地盤改良施工状況


①A2橋台完了

②P1橋脚完了(柱1ﾛｯﾄ)まで

③P1橋脚防護鉄板設置


④P1橋脚防護鉄板内部

担当者の声

当現場の当初工期は1年でしたが、終わってみれば3年4ヶ月にわたる長期現場となりました。一級河川中川の中に仮桟橋・作業構台を構築し、仮締切設置後橋脚1基を施工する工事に橋台構築が追加されました。工事進行中の掘削床付け完了直前にヒービングが発生し、仮締切の鋼矢板が傾き、工事の中断を余儀なくされました。中断中に仮締切の撤去方法や工事の進め方の検討を行った結果、河川内の渇水期施工であることから、今年度内の施工は無理との判断により、次年度の渇水期施工となり工期が延びました。また、その3工事の工期内では、河川内の仮桟橋・仮締切が撤去できないため、随意契約で撤去工事を施工しました。

橋脚の柱は途中までの施工となり鉄筋が突出した状態(②)で水没するため、写真の様な防護（③鉄板養生）を行いました。当作業所で発生した様々な問題を土木事業本部をはじめいろいろな方々の支援により解決でき無事竣工することができました。その結果、難工事功労表彰の受賞や工事成績の高評価を得ることができました。

東京本店 土木部　萩原浩志 (所長)　木村竜也　石井聖也